

会報 なかさと

E-mail nakasatokouryusenta@net1.jway.ne.jp

中里学区コミュニティ推進会
 発行責任者 石川 諒一
 編集事務局 皆川 汪
 TEL 0294-70-8005

中里学区人口 H29.10.1 現在
 世帯数 484
 総人口 1183
 男 575 女 608

平成29年 小・中・地区合同体育祭

疾風迅雷 好機をつかみ、勝利につなげ

安定した強さで中深荻町2年連続の総合優勝!

朝から太陽が眩しく輝き厚さも感じる10月8日(日)合同体育祭が行われました。小・中学生の元気な行進に続き4町地区代表者の行進、1年生和田凌太、緑川幸乃輔両君の青空に響き渡る活発な開会宣言で合同体育祭が開始された。

一番目の種目、中学生「私を見て!変身ガチンコース」ではあらゆる変身グッズで見事に変身!昨年度は先生が「仮装先生」で笑いを誘ったが、今年度は生徒たちが変身を競い会場から笑いと拍手が起こり、以後の競技を盛り上げた。

地区大会の一番最初の得点競技「綱引き予選」では、先生チームの大健闘もあったが、予想通り「中深荻町、東河内町」が決勝に進んだ。両チームとも息びつりの旗振り役がいて号令が綱引きの力を倍増させた?。その後の得点競技結果は輪投げ競争が下深荻町の優勝、バウンドゲームが中深荻町、みんなでジャンプが中深荻町、そして午後一番の一球入魂も中深荻町の優勝と綱引き決勝を前に略中深荻町の総合優勝が決まってしまう。綱引き決勝では東河内町が昨年度に続き優勝したが、それにしても中深荻町は強かった。



中深荻町が強い過去のデータとして、合同体育祭は昭和53年に開催が復活して、現在平成29年までに39回となるがその内の22回が中深荻町の優勝と圧勝しています。また、中深荻町には応援歌が4町唯一存在しているとのこと。(呉坪物語より一部抜粋)

小・中学校紅白大会は去年に続き紅組の勝利 紅白リレーで逆転ならず!

三世代大玉ころがし終了時点で得点差は僅差、最終の小・中一貫紅白リレーに勝敗が持ち込まれたが一進一退のレース、最後の最後で紅組が僅差で勝利総合優勝を決定付けた。

今年も体育祭を盛り上げました

体育祭日和の天候の他、今年放送の「ひよっこ」を彷彿させる美声の茨城弁を響かせた齋藤智子さんの総合司会、中学校司会の堀江君と競技や出場者紹介のやり取りも会場を和ませた。また、恒例の「ボウリングで玉手箱」では、孫の手を取り爺ちゃん婆ちゃんも頑張っていました。



平成29年度の中里学区敬老会が行われました

9月9日(土)平成29年度の敬老会が、中里小学校体育館で行われました。今年度の中里学区招待対象者は、299名(前年比8名減)で本人出席者120名(前年比5名増)代理出席者54名(前年比4名増)で開催されました。

式典には、日立市副市長 横山伸一様、特別養護老人ホーム理事長 関國廣様、はじめ多くの来賓者にご臨席いただき盛大に催されました。今年度も昨年同様に式典開始前から小・中学生の皆さんが、各テーブルの高齢者と談笑し、肩もみを行い和やかな敬老会式典が開始された。

石川諒一実行委員長の挨拶で、7月日立市総合教育会議において中里小・中一貫教育の視察が行われ、小川市長より「児童・生徒が大切にされ、地域がしっかり包み込んでいける。」また、中山俊恵教育長より「生き抜く力の養成のヒントが中里小・中の教育にある」と好評を頂いたこと、大きく新聞で紹介されたこと、敬老会当日は土曜授業として小・中学生全員がお手伝い・作文発表などで参加していること、また、中里学区内で3名の100歳を超える方の紹介があり、特に日立市の男性最高齢者の谷田部さん(下深荻町)は102歳で今も自分の歯で食事を楽しんでいるとの紹介でした。



お年寄りとおふれあう小・中学生

最後に健康寿命の大切さ、テレビ・ラジオが大好き。おしゃべりも食べることも大好き。庭の手入れ、畑仕事が大好き。くよくよせず今が一番幸せと思つて過ごせる人が健康寿命を延ばす秘訣である。と祝いの言葉が述べられた。

中里学区米寿の受賞者は18名(前年比1名増)で入四間町の石川とめさん代表で横山副市長より受賞の記念品を受け取りました



米寿表彰 石川とめさん

小・中学生の作文発表では、5年生の立子山聖(コウキ)君より90歳のお爺さんとの農作業の思い出、中学2年生の草地拓海(タクミン)君は、澄水祭・体育祭での地域の人の合同参加の思い出を発表していただきました。今年も式典終了後、ナウパカの皆さんのフラダンス小学校各学年生の発表会、中学生合同のきららバンドの演奏で会場より歌声が聞こえ和やかに終了した。散会時に今年も式典参加者全員に山水苑様より記念品をいただきました。



谷田部巖氏 102歳

中里がっつり2名の表彰者

宇野 貞良氏

日立市の芸術・文化に貢献し表彰。

宇野さんは、中里学区コミュニティ推進会、文化部長を10年に渡り歴任、文化祭・文化活動振興に貢献し、日立市より表彰されました。



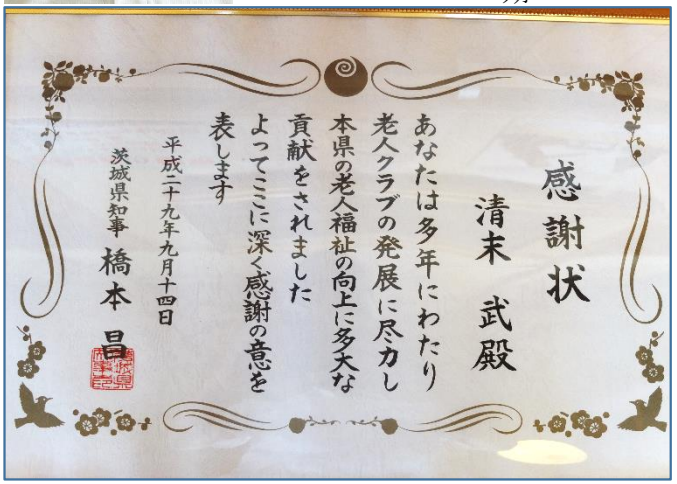
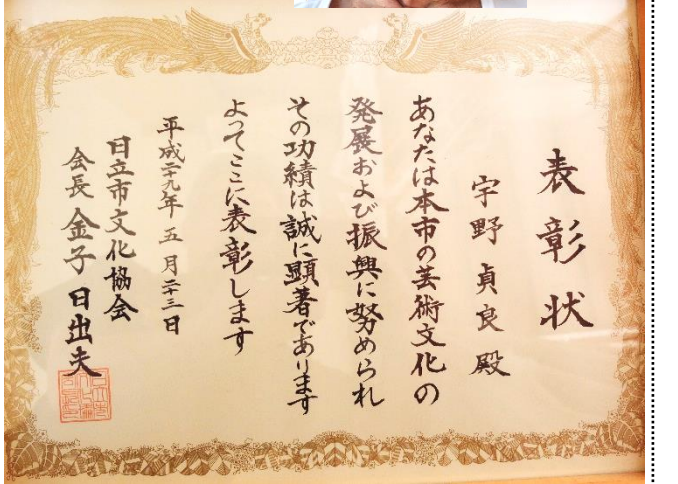
中里の文化活動に顕著なる功績を示され、今後も元気で後輩の育成をお願いします。

清末 武氏

老人クラブの発展に貢献し表彰。

清末さんは、中里学区コミュニティ推進会の長寿部連合会会長を63歳から、4期8年に渡り歴任（平成22年まで）、現在は、入四間町の長寿部単会長を務めておりスポーツを通じ長寿部の発展に貢献し表彰される。小学校では、「理科のおじさん」とし理科の面白さ、不思議さ、興味深さを教えています。

これからも元気で長寿会、地域を盛り上げて下さい。



11月の主な行事の案内です

① 3日（金）、4日（土）文化祭・ふれあい祭り・澄水祭を行います



・文化祭（3・4日）9時～ 交流センター

今回の文化祭では、中里出身者2名の日展入賞の作品展示があります。

中深荻町出身の会沢 文朗（あいざわ ふみお）様と

下深荻町出身の渡辺 信一（わたなべ しんいち）様です。



・ふれあい祭り（3日）11時～ 中学校グラウンド
お茶席も設置されます。軽食を頂きながら演芸をお楽しみください。

・澄水祭（3日）8時30分～ 中学校体育館

小・中学生の発表会です。コミュニケーション科で習う、能楽、落語の発表、英語劇などお楽しみください。



② 再発見ウォーク12日（日）紅葉・歴史と中里リンゴ園散策
毎回大人気で、学区外からの参加者が多数です。全員で散策します。

コース概要 玉簾寺↓中里発電所↓里川水辺空間↓夢ひたちファーム（昼食）↓リンゴ園↓交流センター↓解散

③ 中里学区コミュニティ親睦ゴルフコンペ25日（土）

昨年度は、80名の参加者があり、盛大にかつ和気あいあいに行われ親睦が図られました。今回は10回目の記念大会です。



仲間、（職場・同級生など）是非ご参加お願いします。場所は日立ゴルフクラブ

中里の神社・仏閣・文化財・画家の紹介

中里村信用組合記念碑

東河内 玉簾寺境内

シリーズ⑩

明治33年3月、産業組合法が公布された。農産品の販売・物資の購入及び資金の調達について、農村に共同組織をつくり、農家の保護をはかるうとしたのである。東河内の玉簾寺の境内にある石碑の碑文で中里信用購買販売生産組合の功績が述べられている。碑の建設は組合設立20年をむかえた大正10年である。



碑文によれば組合の主な事業は、耕地改良や煙草、こんにやく等商品作物の栽培奨励、貯金、貸付、共同販売、購買であった。

組合の設立は産業組合法が施工されて2年後の明治35年10月28日で、その事情について「久慈郡郷土史」は、明治35年大字中深荻入四間は交通不便地質劣悪の故を以て煙草耕作を停止されるに至れり、茲に於いて大部式藏氏有志等を募り煙草に換ふるに葡萄栽培を勧めるために設立したのだと記している。

明治31年、葉煙草の専売法施行により、葉煙草生産不適な地域の整理が実施されたが、その中に入四間、中深荻の両地区が含まれていた。商品経済にまきこまれつつある農村にとって、現金収入の道をとざされることは大きな痛手であり、両地区は現金収入の対応をせまられたのである。

明治37年には、久原房之介によって日立鉾山が創業され鉾山に勤務することにより中里全体が潤うことになる。

防災研修に参加して

広報活性部 中嶋繁雄氏投稿

東海第2原子力発電所過酷事故に伴う県外広域避難施設視察研修報告

8月9日（水）東海原子力発電所の原子力災害に伴う県外広域避難施設を中里学区コミュニティ推進会役員19名と日立市市役所職員2名、計21名で日立市バスに乗り視察をしてきました。

国の方針で原発から半径30キロ圏内の自治体には広域避難計画の策定が義務付けられるなか、中里学区の避難場所は福島県喜多方市の押切川公園体育館に指定されました。

今回の視察は避難時の実際の避難経路を通り、避難所に向かう流れを体験し理解するものでした。中里交流センターから東館、矢吹IC、会津若松IC避難所となる押切川公園体育館までは170Kmあり3時間かかりました。体育館は2250平米の暖房・シャワー付きの大きな体育館です。福島第2原発の災害時は700名ほどの人が避難したそうです。近くには野球場、競技場、スポーツ広場が有り駐車場も500台ほど駐車できるとのことです。

広域避難計画については、まだまだ住民には知らない人が多いと思います。これからは計画と合わせ、自力で逃げられない人のための交通手段（おにもバスが考えられます）の確保や地震などの複合災害が起きた際などの対処方法についても更に勉強をしていきたいと思います。

